

令和8年度 佐賀市立春日小学校 教育課程

1 学校教育目標

自分から **か**んがえ **す**なおに **か**んばる 春日っ子の育成 ～温もり～

2 本年度の重点目標

- 主体的な学びができる児童の育成
- 温もりの心で、気づき・考え・行動できる児童の育成
- 一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導や支援ができる学校づくり
- 地域の教育力を生かし、安心して生き生きと活動できる学校づくり

3 重点取組内容

(1)学習指導の充実

- 基本的な学習習慣や学習規律、「学びの約束『かすが』」(**か**つおタイム、**す**ぐに立腰、**か**くしゅうマナー)を身に付けさせるとともに、「子どもが輝く春日っ子授業スタイル【①課題把握②自力解決③深め合い(小集団活動、全体活動)④振り返り】」を全職員が共通理解・共通実践し、児童が「わかった」「できた」と喜びを感じる授業に向けての授業改善を行い、生きる力の育成、学力向上を目指す。
- 単元で身につけさせたい資質・能力、単元全体や本時のゴールを教師と児童が共有し、児童が見通しをもって主体的に学び、自己の学びを調整しながら、粘り強く学び続ける児童の育成を目指す。
- 一人一台端末を積極的に取り入れた授業実践を積み重ね、個別最適な学び、協働的な学びに向けて授業改善を図る。

(2)生徒指導の充実

- 周りで起きていることに気づき、何をすべきか考え、自分で決めて行動することで児童の自律を目指す。
- 児童が主体的に学べる学習環境づくりや一人一人の違いを認め合い、支え合う学級づくりに取り組むことで、一人一人が大切にされる「温もりある学級」「温もりある学校」を目指す。
- 毎月、すっきりニコニコアンケートや生徒指導協議会・教育相談会を実施したり、ケース会議や保護者との密な連絡、WEBQU、児童が安心して過ごすことのできる学級経営を図ったりすることで、いじめ、問題行動の未然防止、早期発見、早期対応、再発防止に努める。
- 教育相談・生徒指導協議会、学年部会等で細目に情報交換を行ったり、グループローラー作戦に取り組んだり、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を活用したりして、誰一人取り残さない支援体制の充実に努める。

(3)特別支援教育の充実

- インクルーシブ教育システムの構築のために、連続性のある「多様な学びの場」の整備と幼・保・こ、学校等との連携の推進を図る。
- 特別支援教育コーディネーターを中心に校内教育支援委員会を開いたり、担任や学校生活支援員との情報交換会を定期的に開いて現状や当面の手立ての共有化を図ったりすることで校内支援体制の構築を図る。
- 個別の支援を必要とする児童をはじめ全校児童が安心して過ごせるように、支援のあり方について、職員研修等で共通理解を深め、具体的な支援を行う。
- 保護者と情報交換をし、個別の教育支援計画を短期・長期の視点から作成し、合意形成しながら学習を進めていく。
- 個別の支援を必要とする児童の自立や社会参加に向け、関係機関との連携を図る。

(4)地域連携の充実

- 各教科や特別な教科道徳、外国語及び外国語活動、特別活動、総合的な学習の年間指導計画の中に、地域に関する学習や地域の人と関わる体験活動を位置付ける。
- 地域との連携を図り、地域の教育力を学習活動や学校行事等で積極的に活用し、交流を図る。
- 児童の模範となる行動や温もりのある行動を称賛し、放送や掲示等で紹介する「きらり発見活動」を、学校行事の際など地域の方にも広げ、児童の自己肯定感を醸成する。
- 児童の安全安心、学校環境整備などを地域の部会と連携して行う。